虫たいじ１１０番
ご用命・お問い合わせ先
アペックス産業株式会社
電話 03-3455-6474
ＦＡＸ 03-3455-6558
〈詳しいご案内は当社のホームページをご覧ください〉
URL http://www.apex-sangyo.jp
●切り取って保存してご利用ください。
キ リ ト リ 線

APEX CLUB

'14/11
第38号
アペックス産業株式会社

『APEX CLUB』
発 行 2014年11月１日(通算38号)
発行所 アペックス産業㈱「APEX CLUB」編集委員会
〒105-0014 東京都港区芝2-23-4
電話 03-3455-6474 FAX 03-3455-6558
ホームページ http://www.apex-sangyo.jp
発行人 元木 貢 (編集委員)山口力広、高塚章夫
佐々木 健
(事 務 局)齊藤久美

ギャラリー

京都祇園祭のころ

梶原 高男(写真家)

船鉾

●作者プロフィール●
梶原高男(かじわらたかお)
1932年 東京生まれ。
1955年 早稲田大学文学部卒。
1956年 フリー写真家となる。
映画スチルや雑誌で活躍。
1975年 「日本カメラ」編集長就任。
以後23年間務める。
写真展多数開催。
大阪芸術大学教授、日本大学芸術学部講師などを歴任。
2000年度 日本写真協会「功労賞」受賞。
日本写真協会理事

菊水鉾

新町通

町屋の大黒様

伯牙山

●作者寸言●
日本三大祭のひとつ京都の祇園祭は、疫病退散の祈りのため平安京神泉苑に、当時(八六九年)の日本の国の数六十六本の矛を立てた祇園御霊会に始まるとされる。現在の祭の形のようになったのは十四世紀南北朝時代の頃からで、それでもすでに六百五十年余の時を経た歴史ある祭である。
現在の祇園祭は七月一ヶ月間の長期にわたる祭だが、クライマックスは山鉾巡行で、昨年までは七月十七日一回だったが、今年から前祭と二十四日の後祭の二回に分けて行われるようになった。
山鉾の数は前祭の二十三基と後祭の十基で、今年から休み山の大船鉾が百五十年ぶりに復活して話題となった。動く美術館といわれる山鉾は、その懸装品が美しく、巡行前日の宵山では町内会所で近くから見ることができるので、ぜひこちらも見ていただきたいものである。

むし籠

防災訓練に参加して

一九二三年九月一日に起きた関東大震災をきっかけに、ここ港区でも防災訓練が毎年行われています。
当社も備蓄品として非常食や、緊急連絡用の持ち出しグッズなどを常備していますが、東日本大震災から三年、他にも何か役立つことはないかと、港区の防災訓練に参加することになりました。
雨上がりの日曜日、集合場所で配布された町内会名入りのベストとヘルメットを装着し、開催場所の都立芝公園四号地広場まで、いざ出陣。
広場には既に集まった各地域の方々が楽しそうに体験しておりました。体験コーナーはなんと計十四箇所もあり、どこから体験するか迷います。主なコーナーを紹介しますと、
初期消火訓練コーナー…水入りの消化器を使用しての火消し体験をします。これがなかなか命中しないものです。
煙中避難訓練…煙でいっぱいのトンネルの中を歩きます。前方が全く見えません。予想以上に歩けませんでした。
応急救護…ＡＥＤの操作方法をレクチャーしてもらいました。実際に見るのは初めてでした。難しいので人と協力し合って、行うべきと思いました。
地震体験…ご存知、地震体感車に乗り、震度９を体験しました。動き出す前の緊張感が半端ではありません。これらを体験して、情報も大切ですが、予想や知識だけでは不十分だと実感しました。そして楽しめました。機会がありましたら皆様も是非参加してみて下さい

「マチャアキの気になる研究所」に取材協力

ＴＢＳテレビ「マチャアキの気になる研究所」から、ダニの取材協力の依頼を受けました。
平成二十六年四月二日に当社研究室に柴田理恵さんが取材で来社。
「布団の中にどのくらいのダニが生息するのか」についてインタビューを受け、実際に実体顕微鏡で生きたダニを見てもらったところ、びっくりして目を丸くしていました。
四月八日には、スタジオに顕微鏡を持ち込み、堺正章さん、出水麻衣アナウンサー、柴田理恵さん、藤田朋子さん、多岐川華子さん(裕美の娘さん)らが、生きたダニを見て大騒ぎ。この番組は五月六日に放映されました。

虫 Q&A

ジョウジョウバエ

Q 空き缶、空き瓶の周りにコバエが飛んでいるのですが、何のハエですか？
A 飲料が残った空き瓶等には、コバエが発生することがあり、特にビールやワインなどの発酵性の飲料にはショウジョウバエが誘引されます。
ショウジョウバエの幼虫は酵母を餌としており、飲料の他、味噌や発酵した果物等の食品にも発生します。
Q 対策はどうしたら良いでしょう？
A 特に酒類やジュース類の空き缶は放置するとよく発生します。飲み終わった空き缶はそのまま放置せず、一度水ですすいでからゴミ箱に捨てましょう。
また、飲料がこぼれたままの箇所にも誘引されるため、こまめな拭き掃除が大切です。発酵した果物は特に発生源となりやすいので、台所に古くなった果物が置かれていないか注意が必要です。

虫めがね

代々木公園でデング熱発生

当社が所属する(公社)東京都ペストコントロール協会は、会員からなる感染症予防衛生隊を組織し、感染症の発生に備えて、東京都と協定を結び、感染症の消毒作業やそれを媒介する昆虫等の防除に備えています。
去る八月二十八日、東京都から代々木公園でデング熱患者発生の連絡を受け、直ちに蚊の駆除作業に出動しました。この日を発端として、患者は次々に増え、蚊の体内からデング熱ウイルスが検出されたことから、九月五日の二回目の作業に当社も出動。以後、九月末までに協会の出動は五回に及びました。
その後、新宿中央公園、青山公園、新宿御苑と対象場所は広がり、蚊の捕獲調査も併せて実施しています。デング熱が国内で発生したのは六十九年ぶりですが、海外で蚊に刺されて感染、日本で発病した人は昨年だけでも二百四十九人に上っています。その患者さんを蚊が刺してウイルスを取り込んだものと思われています。
今回の騒動でデング熱に注目が集まりましたが、すでに多くの国内感染の患者がいたように思われます。いつどこでデング熱を移されるかわかりません。蚊にはくれぐれもご用心！刺されないようにするのはもちろん、空き缶など家のまわりの小さな水溜まりをなくし、雨水枡には網をかけるなどの対策が必要です。

薬剤散布作業と取材陣